

平成29年上期 景気動向調査結果

～ 業況は改善しつつも、先行き懸念 ～

和歌山商工会議所

- 目的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 平成29年1月1日から平成29年6月30日(平成29年上期)
- 調査実施期間 : 平成29年7月11日から平成29年7月29日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・部会副部会長・女性会・青年部・商工振興委員 537事業所
- 回答数 : 回収数 147(回収率27.3%)

業種		従業員数					
		0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	合計
製造業		5	5	13	10	12	45
非製造業	建設業	4	2	5	2	2	15
	小売業	6	3	2	1	6	18
	卸売業	4	4	2	6	3	19
	サービス業	13	9	4	6	9	41
	その他業	0	3	3	0	3	9
合計		32	26	29	25	35	147

概要

平成29年上期(1月～6月)の景況感は、製造業では、原材料価格の高騰や人材不足による受注機会損失などのマイナス要因があり、業況で僅かに悪化しているものの、中国景気の回復や新商品開発による増収等により全体としては改善している。

非製造業でも、首都圏での業績アップやネット販売の増加による改善等により、全体で改善傾向にあるが、一方で価格転嫁が進まないことや固定費増加などによる利益率の悪化や原材料・燃料費の高騰等により採算性が悪化するなどの不安要素も残っている。

先行きについては、全業種で改善するとの見通しである。しかし、「仕入単価上昇と慢性的な人手不足は続く」との声も聞かれ、依然として懸念材料が残る。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み(抜粋)

●製造業

- ・自社の特技をいかした受注を図る
- ・変化に対応するため研究開発スピードのアップ
- ・高度技術の習得のための教育
- ・技術系社員の確保。
- ・新たな業界への展開(海外も含む)
- ・WEBを活用したB to C取引の確立

●非製造業

- ・従業員確保の為、賃上げ、就業規則の改定、募集活動強化
- ・「働き方改革」による生産性向上・労働時間の効率化
- ・クライアントを地元和歌山で獲得出来るよう営業に重点
- ・助成金を活用

※「DI値」とは

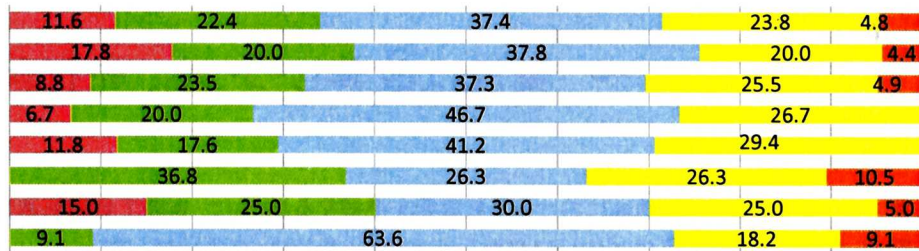
デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

今期(H29年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 5.4 前期比 2.8)
製造業	(今期 13.3 前期比 ▲3.0)
非製造業	(今期 2.0 前期比 4.8)
建設業	(今期 0.0 前期比 ▲4.8)
小売業	(今期 0.0 前期比 11.8)
卸売業	(今期 0.0 前期比 ▲14.3)
サービス業	(今期 10.0 前期比 20.9)
その他業	(今期 ▲18.2 前期比 ▲27.3)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 無回答

今期(H29年1月～6月)の状況

製造業で13.3(前期比-3.0)、非製造業で2.0(前期比+4.8)、全業種で5.4(前期比+2.8)となった。製造業では、僅かに悪化したもののプラス域で推移している。非製造業では、前期に引き続き改善している。

好転した要因として、「中国景気の回復(製造業)」、「大手ユーザーの業況好転(製造業)」、「大型リフォームの受注増(建設業)」、「取引先の受注拡大(サービス業)」、「取引先の設備投資増加による増収(サービス業)」、「首都圏での活況(卸売業)」、「ネット販売の増加(小売業)」等が挙げられている。

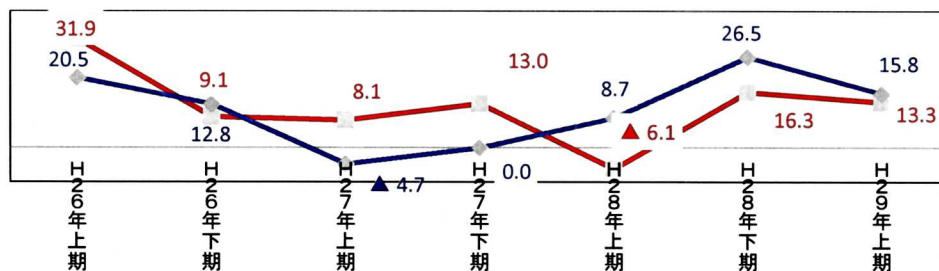
悪化した要因としては、「中国、ベトナム製の安価な製品が影響(製造業)」、「公共工事減少、工事量が減少(建設業)」、「県外資本の大型店進出(卸売業)」、「取引先の仕事量減少(卸売業)」等が挙げられている。

※前期比とは、前回調査(平成29年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移
製造業

— 今期のDI値

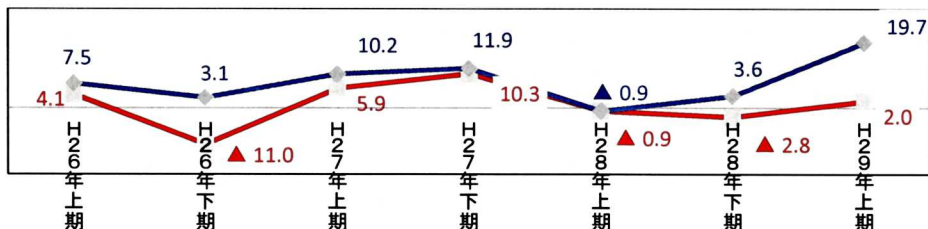
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 今期のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

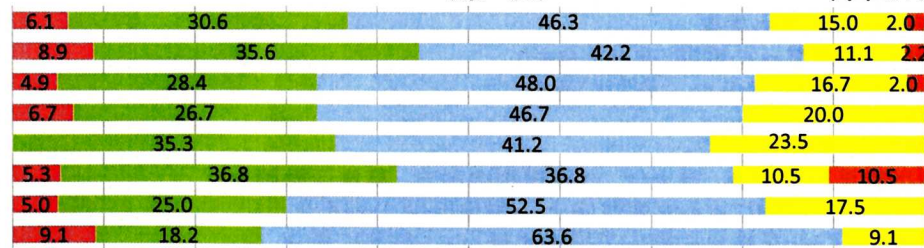


来期(H29年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 19.7 今期比 14.3)
製造業	(見通し 31.1 今期比 17.8)
非製造業	(見通し 14.7 今期比 12.7)
建設業	(見通し 13.3 今期比 13.3)
小売業	(見通し 11.8 今期比 11.8)
卸売業	(見通し 21.1 今期比 21.1)
サービス業	(見通し 12.5 今期比 2.5)
その他業	(見通し 18.2 今期比 36.4)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 無回答

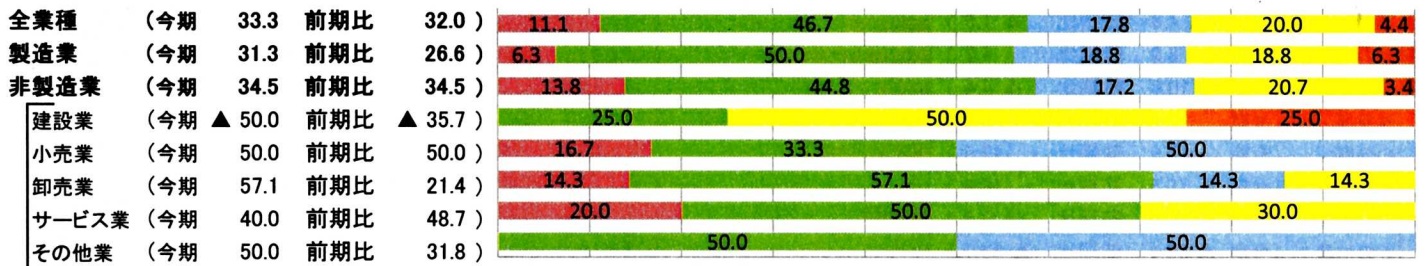
今期と比較した来期(H29年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、今期と比較し、製造業で17.8ポイント改善の31.1、非製造業で12.7ポイント改善の14.7、全業種で14.3ポイント改善の19.7と見通している。非製造業を業種別で見ると、全ての業種で改善の見通しとなった。

今期(H29年1月～6月)のDI値

(売上)

(単位: %)



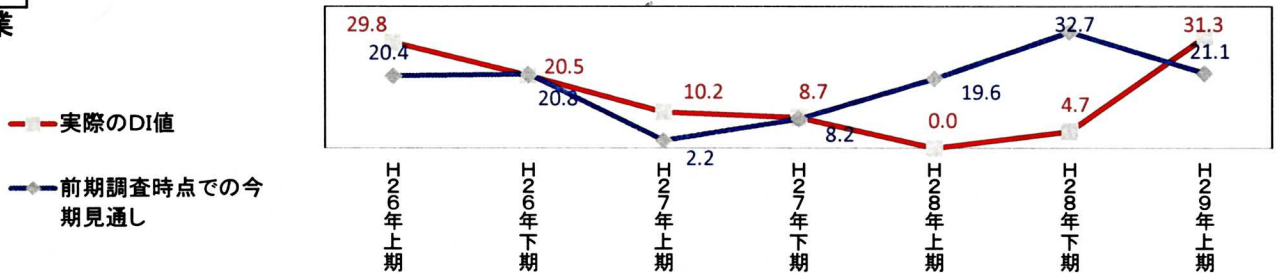
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(H29年1月～6月)の状況

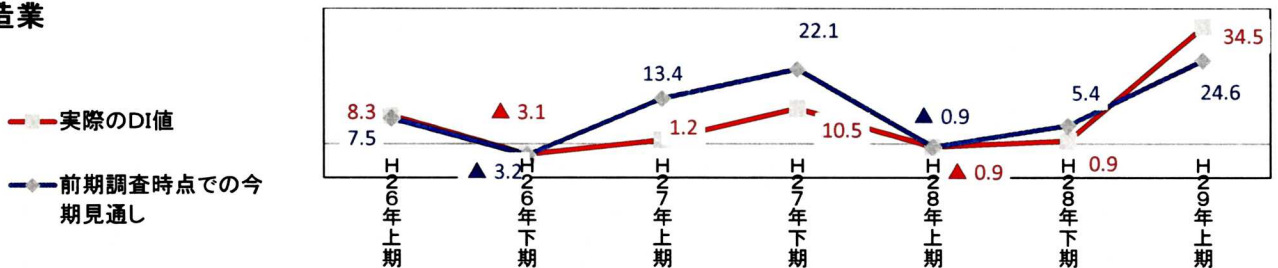
売上DI値は、製造業で31.3(前期比+26.6)、非製造業で34.5(前期比+34.5)、全業種で33.3(前期比+32.0)となり、製造業、非製造業とも改善した。非製造業を業種別で見ると、建設業を除く業種で改善した。
 売上増加の要因としては、「新商品の発売による売上増(製造業)」、「取引先の事業好調(製造業)」、「大手取引先のモデルチェンジによる受注増」などがあげられる。
 悪化の要因としては、「消費者の比較購買が厳しい(小売業)」、「国体等大型イベント関連の反動減(サービス業)」などの声が聞かれた。

※前期比とは、前回調査(平成29年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移
製造業



非製造業



来期(H29年7月～12月)の見通しDI値

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

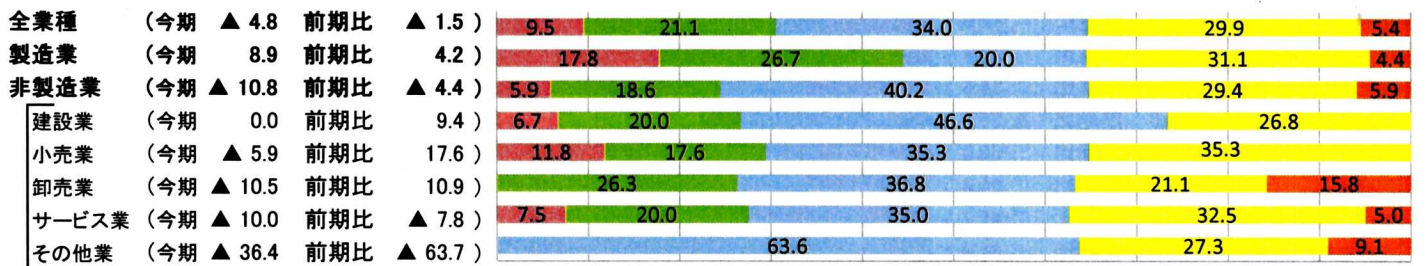
今期と比較した来期(H29年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDIは、製造業で0.1ポイント悪化の31.1、非製造業で23.7ポイント悪化の10.8、全業種で16.3ポイント悪化の17.0と見通している。
 非製造業を業種別で見ると、建設業のみで改善を見通している。

今期(H29年1月～6月)のDI値

(採 算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(H29年1月～6月)の状況

採算DI値は、製造業で8.9(前期比+4.2)、非製造業で▲10.8(前期比-4.4)、全業種で▲4.8(前期比-1.5)となった。製造業では、前期に引き続き改善した。一方、非製造業では、3期連続で悪化した。非製造業を業種別で見ると、建設業・小売業・卸売業においても、いまだマイナス域の推移となっている。

好転した要因として、「大手ユーザーの好転(製造業)」、「中国景気の回復(製造業)」、「自社設備投資の効果が出来た(サービス業)」、「販売価格の上昇(建設業)」。

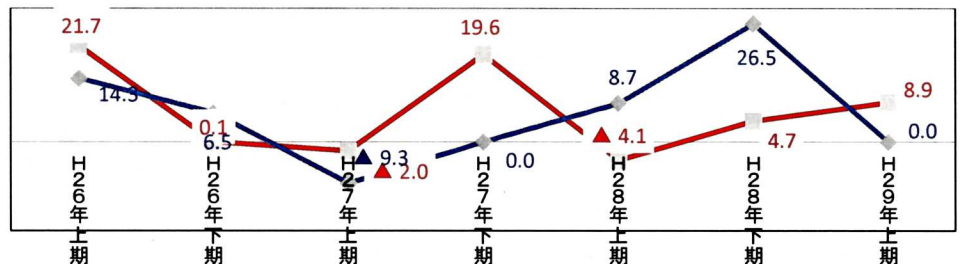
悪化した要因として、「原材料の高騰(製造業)」、「人手不足(製造業)」、「公共工事発注減に伴う受注減(建設業)」、「燃料費の高騰(その他業)」等が挙げられている。

※前期比とは、前回調査(平成29年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

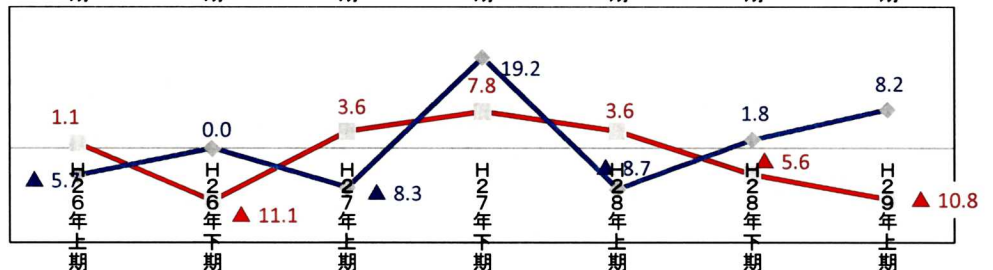
製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



来期(H29年7月～12月)の見通しDI値

(採 算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(H29年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通DI値は、製造業で8.9ポイント改善の17.8、非製造業で15.7ポイント改善の4.9、全業種で13.6ポイント改善の8.8と見通している。非製造業を業種別で見ると、全ての業種で改善を見通している。

【 資金繰りDI値 】

今期(H29年1月～6月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)

全業種	(今期 12.2 前期比 4.9)	6.1	16.3	66.7	8.8	1.4
製造業	(今期 11.1 前期比 ▲9.8)	8.9	17.8	57.8	13.3	2.2
非製造業	(今期 12.7 前期比 10.8)	4.9	15.7	70.6	6.9	1.0
建設業	(今期 40.0 前期比 21.0)	6.7	40.0	46.7	6.7	
小売業	(今期 0.0 前期比 5.9)	5.9	11.8	58.8	17.6	5.9
卸売業	(今期 15.8 前期比 15.8)		21.1	73.7		5.3
サービス業	(今期 10.0 前期比 18.7)	7.5	7.5	80.0		5.0
その他業	(今期 0.0 前期比 ▲27.3)	9.1		81.8		9.1

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期(H29年1月～6月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で11.1(前期比-9.8)、非製造業で12.7(前期比+10.8)、全業種で12.2(前期比+4.9)となった。製造業では、悪化したもののプラス域で推移。非製造業では4期ぶりに改善に転じた。非製造業を業種別で見ると、「その他業」を除く他の業種で改善、特に「建設業」で大幅に改善した。

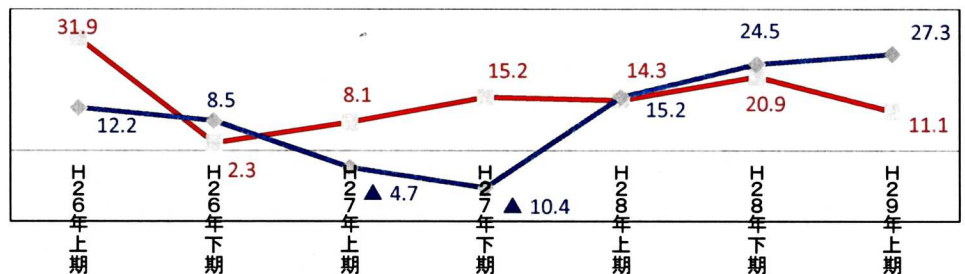
※前期比とは、前回調査(平成29年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

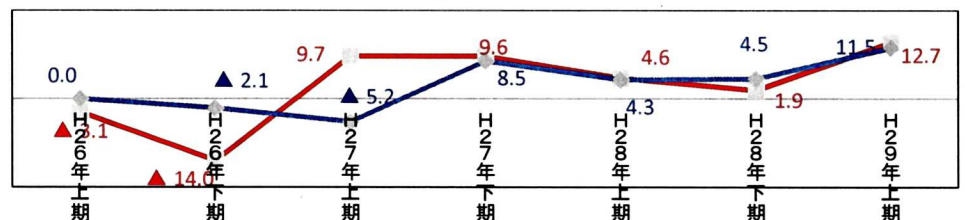
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し



来期(H29年7月～12月)の見通しDI値

(資金繰り)

(単位: %)

全業種	(見通し 8.2 今期比 ▲4.1)	2.0	15.0	74.1	6.8	2.0
製造業	(見通し 6.7 今期比 ▲4.4)	4.4	15.6	66.7	13.3	
非製造業	(見通し 8.8 今期比 ▲3.9)	1.0	14.7	77.5	3.9	2.9
建設業	(見通し 20.0 今期比 ▲20.0)		26.7	66.7	6.7	
小売業	(見通し 11.8 今期比 11.8)		17.6	76.5		5.9
卸売業	(見通し 0.0 今期比 ▲15.8)		10.5	78.9	5.3	5.3
サービス業	(見通し 7.5 今期比 ▲2.5)	2.5	10.0	82.5		2.5
その他業	(見通し 9.1 今期比 9.1)		18.2	72.7		9.1

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■好転 ■やや好転 ■不変 ■やや悪化 ■悪化 ■無回答

今期と比較した来期(H29年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDIは、製造業で4.4ポイント悪化の6.7、非製造業で3.9ポイント悪化の8.8、全業種で4.1ポイント悪化の8.2と見通している。非製造業を業種別で見ると「小売業」、「その他業」で改善の見通し。

今期(H29年1月～6月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 無回答

今期(H29年1月～6月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲13.3(前期比+0.7)、非製造業で▲1.0(前期比+3.2)、全業種で▲4.8(前期比+2.4)となった。製造業では僅かに悪化、非製造業では、4期連続で改善したもの、いずれもマイナス域で推移しており在庫調整が進んでいない状況である。

非製造業を業種別に見ると、「卸売業」を除く他の業種で改善している。

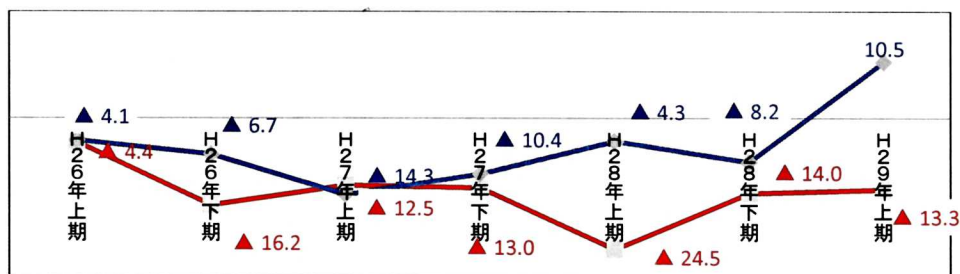
※前期比とは、前回調査(平成29年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

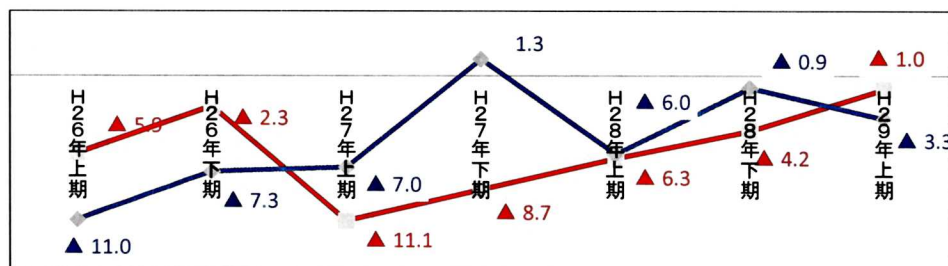
— 前期調査時点での今期見通し



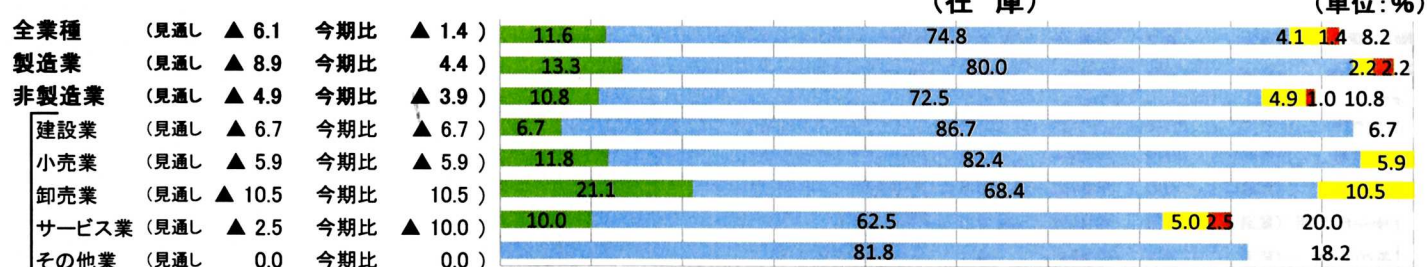
非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し



来期(H29年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 無回答

今期と比較した来期(H29年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しは、製造業で4.4ポイント改善の▲8.9、非製造業で3.9ポイント悪化の▲4.9、全業種で1.4ポイント悪化の▲6.1と見通している。非製造業を業種別で見ると、「建設業」、「小売業」、「サービス業」で悪化すると見通している。

今期(H29年1月～6月)のDI値

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期(H29年1月～6月)の状況

仕入単価DI値は、製造業で▲62.2(前期比-20.3)、非製造業では▲26.5(前期比-2.7)、全業種で▲37.4(前期比-8.2)、となった。

製造業、非製造業ともに前期に引き続き悪化。非製造業では、卸売業を除く全ての業種で悪化した。これらの要因として「燃料費や物流費の高騰」の声が聞かれた。

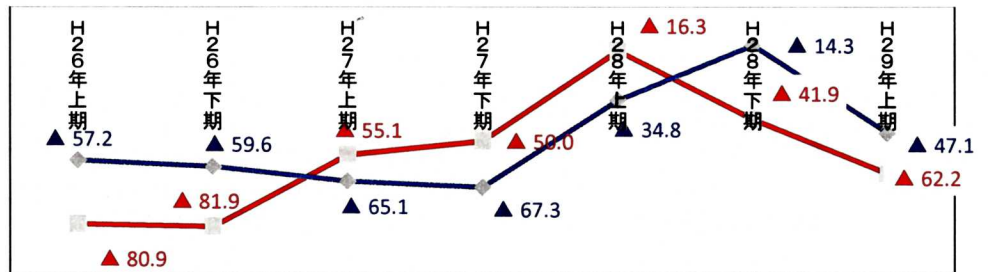
※前期比とは、前回調査(平成29年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

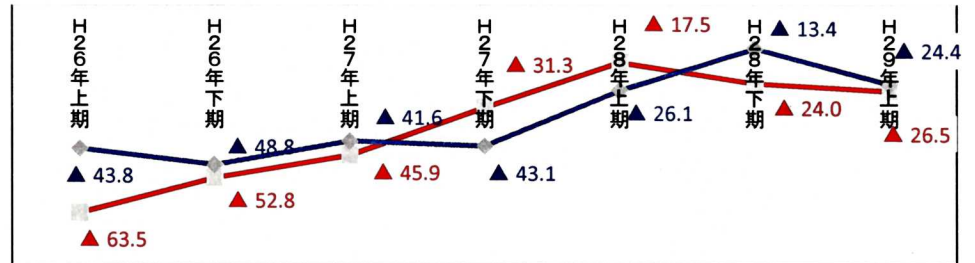
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

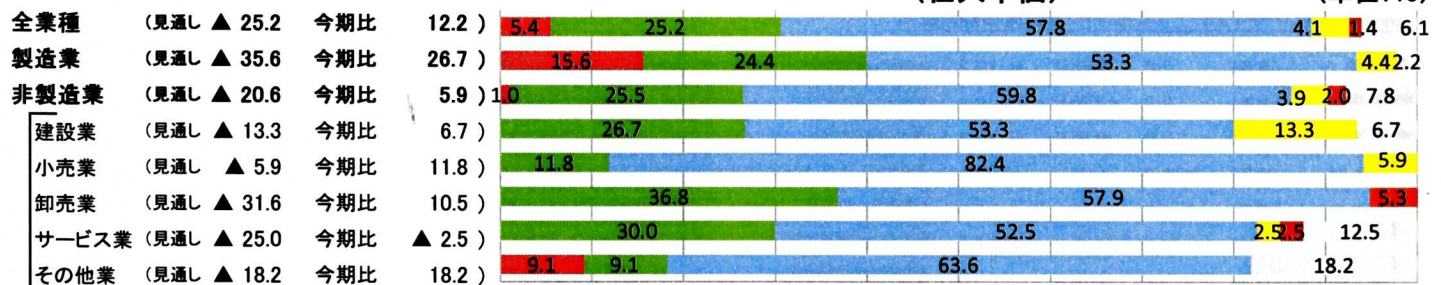
— 前期調査時点での今期見通し



来期(H29年7月～12月)の見通しDI値

(仕入単価)

(単位: %)

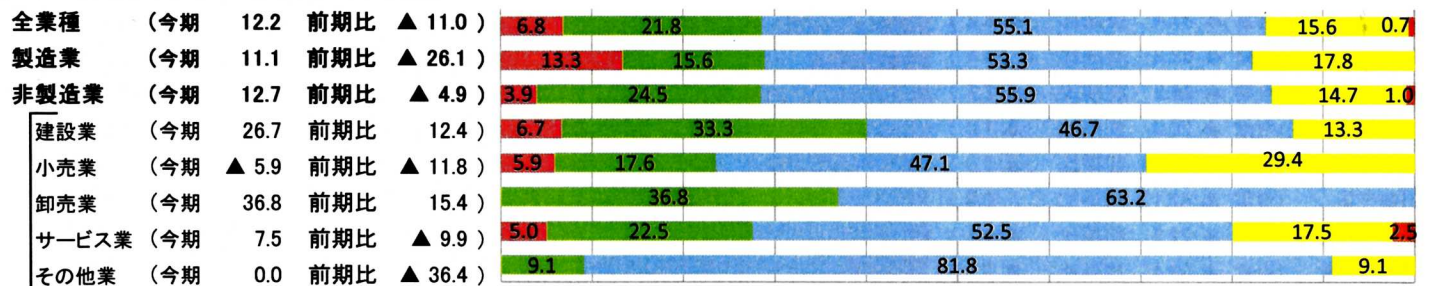


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(H29年7月～12月)の見通し

来期の見通しは、製造業で26.7ポイント改善の▲35.6、非製造業で5.9ポイント改善の▲20.6、全業種で12.2ポイント改善の▲25.2と見通している。非製造業を業種別で見ると、サービス業を除く他の業種で改善の見通している。

今期(H29年1月～6月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(H29年1月～6月)の状況

従業員数DI値は、製造業で11.1(前期比-26.1)、非製造業で12.7(前期比-4.9)、全業種で12.2(前期比-11.0)となった。非製造業を業種別に見ると、「建設業」・「卸売業」で上昇した。製造業・非製造業ともに上昇傾向にあったが下降に転じた。人材確保のため、「就業規則・賃金規定の改定や募集活動の強化をする」との声が聞かれた。

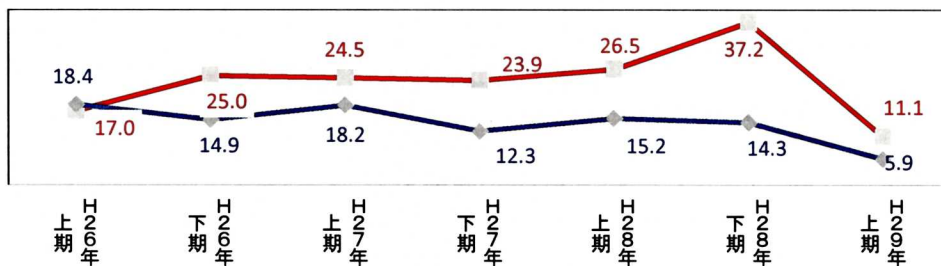
※前期比とは、前回調査(平成29年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

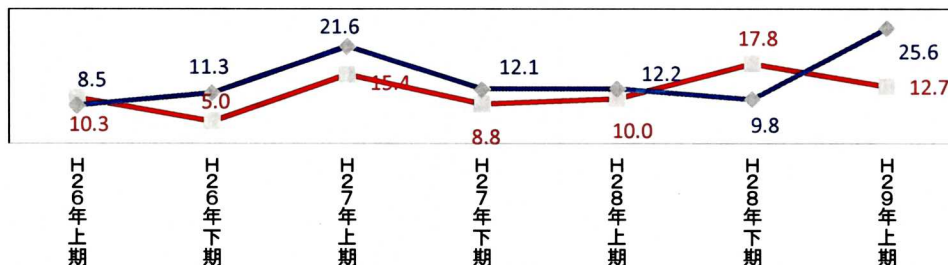
■ 前期調査時点での今期見通し



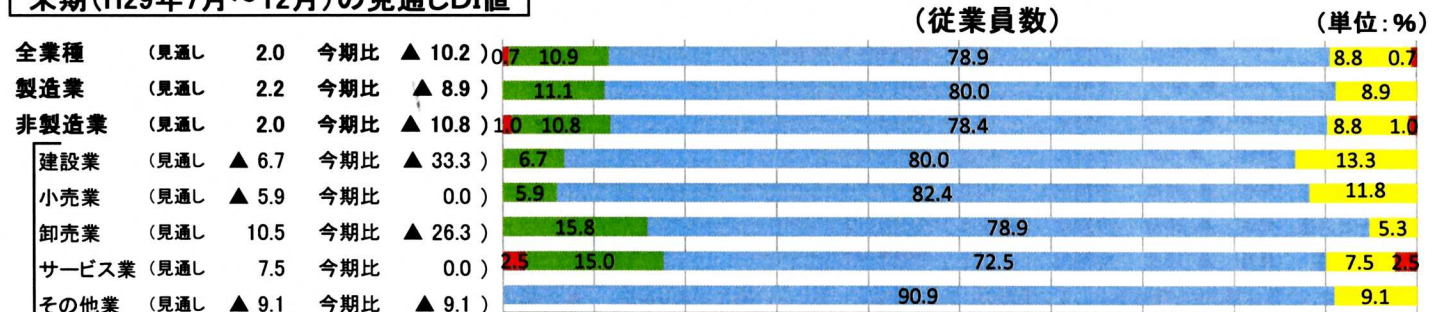
非製造業

■ 実際のDI値

■ 前期調査時点での今期見通し



来期(H29年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期(H29年7月～12月)の見通し

来期の見通しは、製造業で8.9ポイント低下の2.2、非製造業で10.8ポイント低下の2.0、全業種で10.2ポイント低下の2.0と見通している。非製造業を業種別で見ると、「卸売業」、「その他業」で下降する見通しとなった。

今期(H29年1月～6月)のDI値

(設 備)

(単位: %)

全業種	(今期 3.4 前期比 ▲ 14.0)	0.7	7.5	78.2	9.5	2.0
製造業	(今期 4.4 前期比 ▲ 11.9)	8.9	75.6	11.1	2.2	
非製造業	(今期 2.9 前期比 ▲ 15.0)	10.6	79.4	8.8	2.0	
建設業	(今期 0.0 前期比 ▲ 9.5)		100.0			
小売業	(今期 ▲ 11.8 前期比 ▲ 23.6)	5.9	11.8	76.5	5.9	
卸売業	(今期 10.5 前期比 ▲ 32.4)		89.5	5.3	5.3	
サービス業	(今期 2.5 前期比 ▲ 12.7)	12.5	67.5	12.5	2.5	5.0
その他業	(今期 18.2 前期比 0.0)		81.8	18.2		

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 無回答

今期(H29年1月～6月)の状況

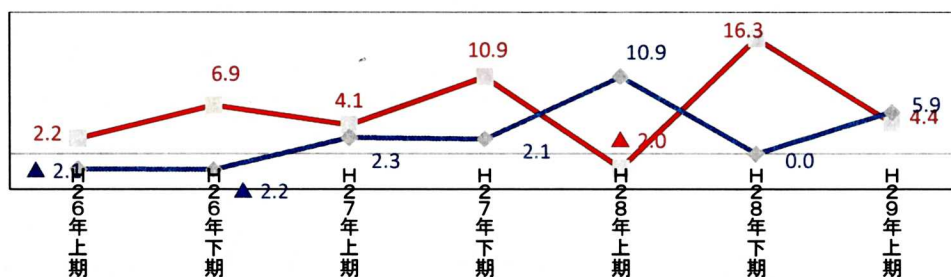
設備DI値は、製造業で4.4(前期比-11.9)、非製造業で2.9(前期比-15.0)、全業種で3.4(前期比-14.0)となった。製造業、非製造業ともに悪化した。非製造業においては、「その他業」を除く他の業種で悪化した。

※前期比とは、前回調査(平成29年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

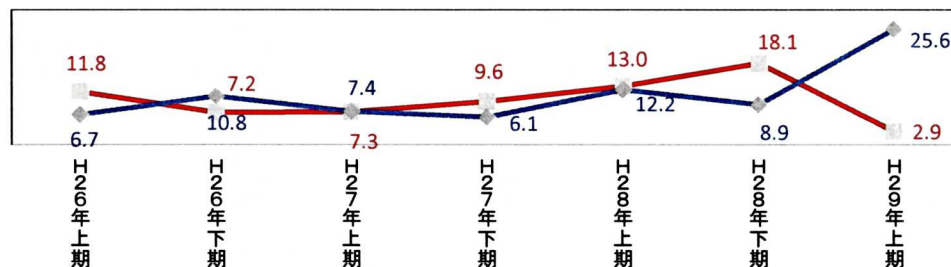
製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



来期(H29年7月～12月)の見通しDI値

(設 備)

(単位: %)

全業種	(見通し 2.7 今期比 ▲ 0.7)	0.7	5.4	83.0	6.8	2.0
製造業	(見通し 0.0 今期比 ▲ 4.4)	8.9	82.2	6.7	2.2	
非製造業	(見通し 3.9 今期比 1.0)	10.9	83.3	6.9	2.9	
建設業	(見通し 0.0 今期比 0.0)		93.3	6.7		
小売業	(見通し ▲ 5.9 今期比 5.9)	5.9	5.9	82.4	5.9	
卸売業	(見通し 15.8 今期比 5.3)		84.2	10.5	5.3	
サービス業	(見通し 2.5 今期比 0.0)	7.5	77.5	7.5	2.5	5.0
その他業	(見通し 9.1 今期比 ▲ 9.1)		90.9	9.1		

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

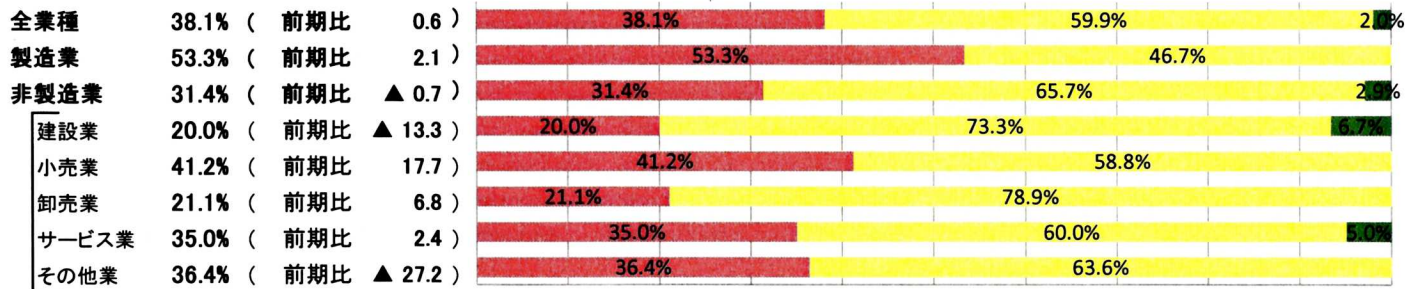
■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 無回答

今期と比較した来期(H29年7月～12月)の見通し

来期の見通しは、製造業で4.4ポイント悪化、非製造業で1ポイント改善の3.9、全業種で0.7ポイント悪化の2.7と見通している。非製造業を業種別で見ると、小売業と卸売業で改善を見通している。

【 新規設備投資 】

◆ 今期(H29年1月～6月)の新規設備投資を実施した割合

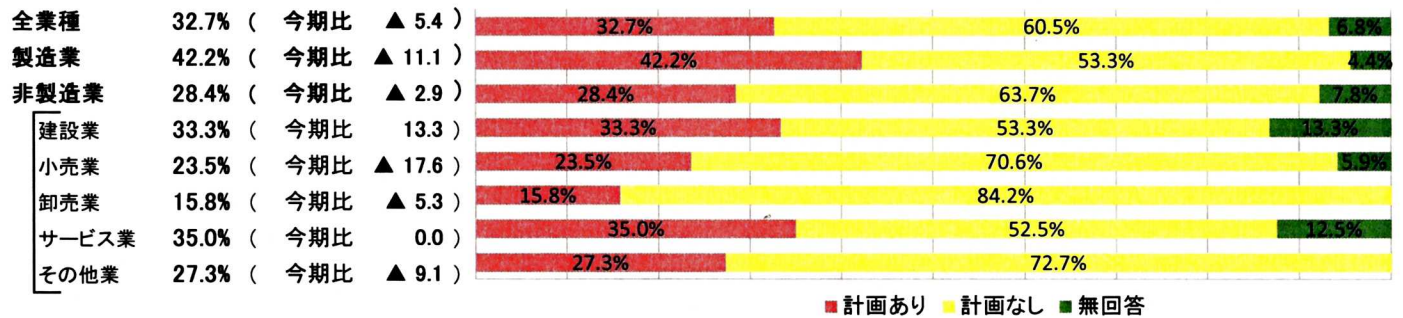


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査(平成29年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

◆ 来期(H29年7月～12月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	7.8%	③ 13.3%	0.0%	5.3%	7.3%	② 22.2%
需要の停滞	② 24.4%	② 31.4%	② 33.3%	① 27.8%	① 36.8%	② 29.3%	① 33.3%
為替差損	2.2%	2.9%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	③ 11.1%
売上単価の低下	15.6%	③ 10.8%	② 33.3%	③ 11.1%	5.3%	4.9%	③ 11.1%
新規参入業者の増加	4.4%	4.9%	0.0%	③ 11.1%	10.5%	2.4%	0.0%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	① 31.1%	6.9%	6.7%	③ 11.1%	5.3%	4.9%	③ 11.1%
生産設備の不足・老朽化	③ 20.0%	8.8%	0.0%	0.0%	10.5%	③ 14.6%	③ 11.1%
原材料の不足	2.2%	1.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	③ 20.0%	7.8%	③ 13.3%	0.0%	③ 15.8%	7.3%	0.0%
下請負単価の上昇	2.2%	2.0%	6.7%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%
官公需要の停滞	4.4%	2.9%	③ 13.3%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	2.9%	0.0%	5.6%	5.3%	2.4%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	1.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	2.0%	0.0%	5.6%	0.0%	2.4%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	3.9%	0.0%	③ 11.1%	10.5%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	2.2%	1.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	8.9%	7.8%	6.7%	0.0%	③ 15.8%	9.8%	0.0%
人件費の増加	③ 20.0%	③ 10.8%	0.0%	③ 11.1%	② 21.1%	12.2%	0.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	5.3%	2.4%	0.0%
駐車場の確保難	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	4.4%	4.9%	0.0%	0.0%	5.3%	4.9%	② 22.2%
従業員・熟練技術者の確保難	① 31.1%	① 32.4%	① 40.0%	② 22.2%	③ 15.8%	① 41.5%	① 33.3%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	0.0%	3.9%	6.7%	0.0%	0.0%	7.3%	0.0%
その他	4.4%	2.9%	0.0%	5.6%	10.5%	0.0%	0.0%

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

景況調査結果

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：平成29年1月1日から平成29年6月30日（平成29年上期）
- 調査実施期間：平成29年7月11日から平成29年7月29日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模企業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）291事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：152（回答率52.2%）

従業員数		0～5人	6～20人	合計
業種	製造業	20	19	39
	建設業	17	6	23
	小売業	23		23
	卸売業	16		16
	サービス業	51	0	51
	その他業	0		0
合計		127	25	152

業況DI

今期（H29年1月～6月）のDI値

				(業況)					(単位：%)
全業種	今期	25.6	前期比	21.8	10.3	33.3	38.5	15.4	2.6
製造業	今期	40.0	前期比	3.2	10.0	40.0	40.0	10.0	
非製造業	今期	20.7	前期比	27.3	10.3	31.0	37.9	17.2	3.4
建設業	今期	0.0	前期比	20.0	33.3	33.3	33.3		
小売業	今期	▲16.7	前期比	25.0	16.7	50.0	33.3		
卸売業	今期	0.0	前期比	0.0	25.0	50.0	25.0		
サービス業	今期	53.8	前期比	46.4	15.4	46.2	30.8	7.7	
その他業	今期	-	前期比	-					

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期（H29年7月～12月）の見通しDI値

全業種	来期	28.2	今期比	2.6	12.8	28.2	46.2	10.3	2.6
製造業	来期	60.0	今期比	20.0	10.0	50.0	40.0		
非製造業	来期	17.2	今期比	▲3.4	13.8	20.7	48.3	13.8	3.4
建設業	来期	33.3	今期比	33.3	16.7	33.3	33.3	16.7	
小売業	来期	▲50.0	今期比	▲33.3	50.0	50.0	50.0		
卸売業	来期	0.0	今期比	0.0	25.0	50.0	25.0		
サービス業	来期	46.2	今期比	▲7.7	15.4	30.8	53.8		
その他業	来期	-	今期比	-					

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

売上DI

今期(H29年1月～6月)のDI値

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少

来期(H29年7月～12月)の見通しDI値



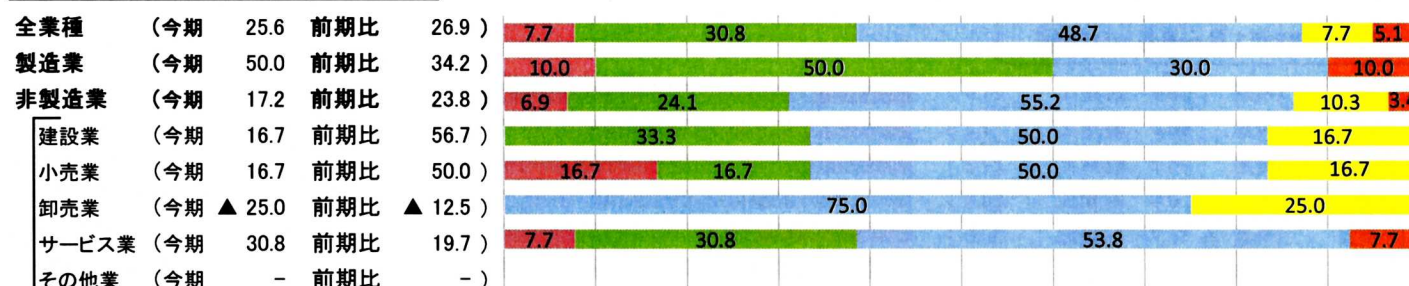
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

採算DI

今期(H29年1月～6月)のDI値

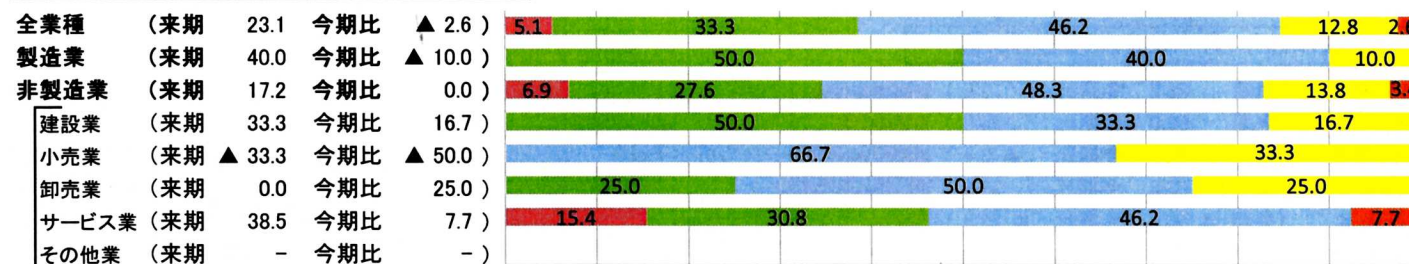
(採算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期(H29年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(H29年1月～6月)のDI値

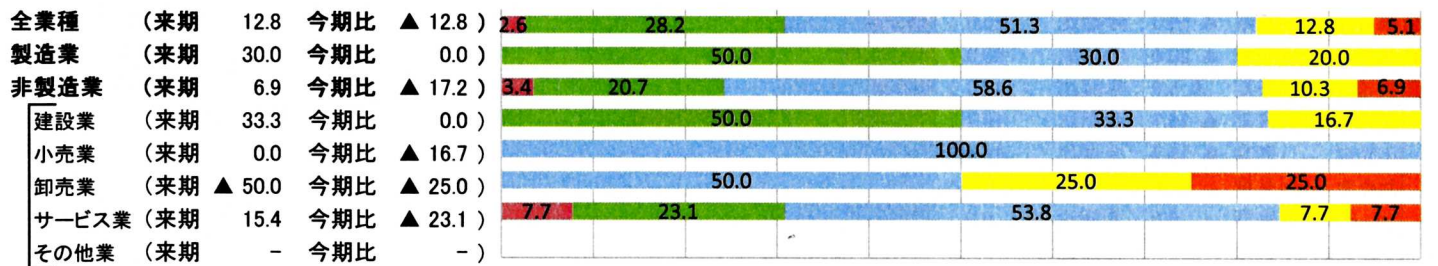
(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期(H29年7月～12月)の見通しDI値



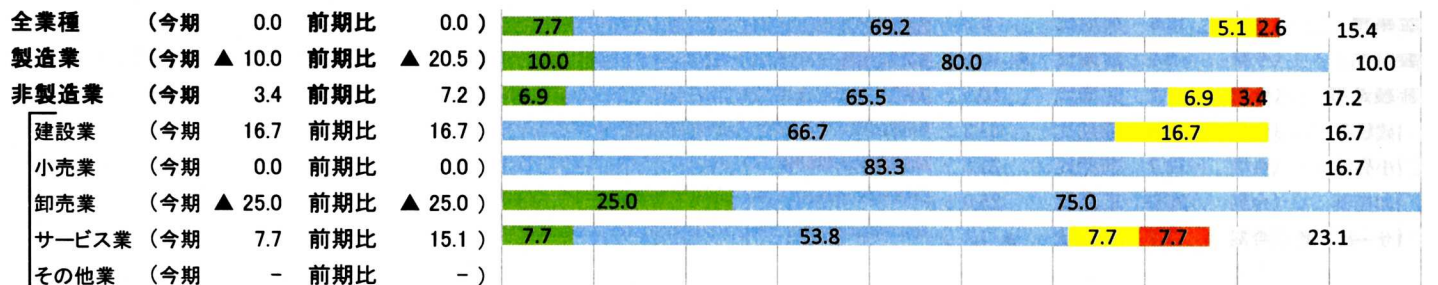
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

在庫DI

今期(H29年1月～6月)のDI値

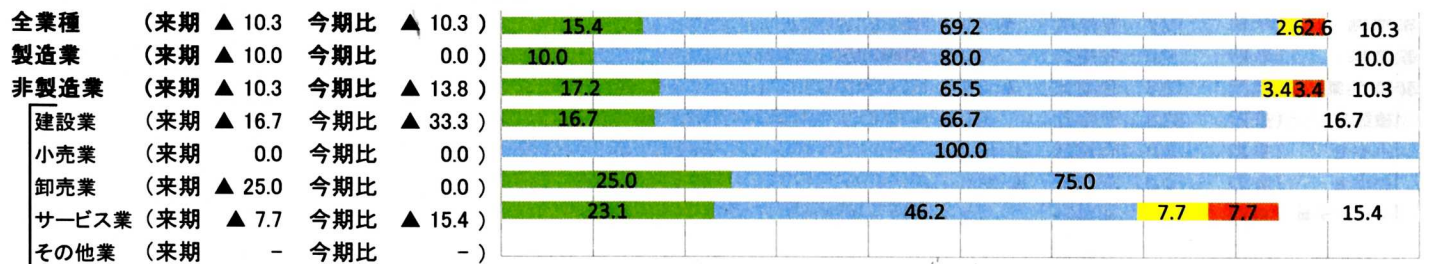
(在庫)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(H29年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

仕入単価DI

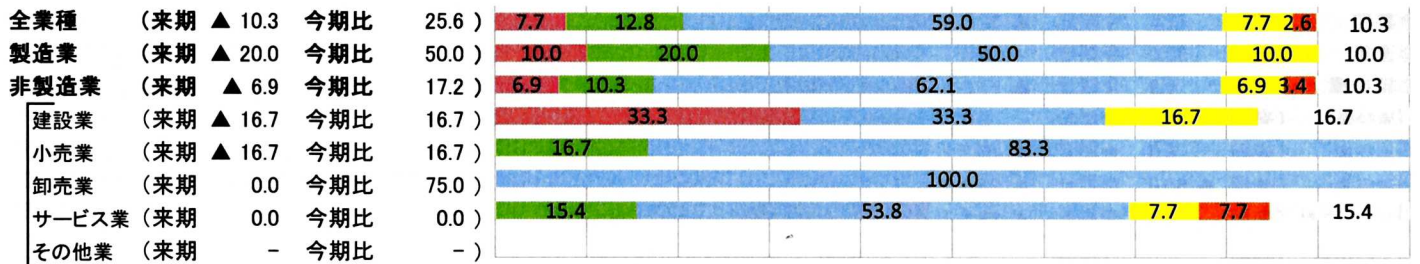
今期(H29年1月～6月)のDI値

(仕入単価)

(単位: %)



来期(H29年7月～12月)の見通しDI値



従業員数DI

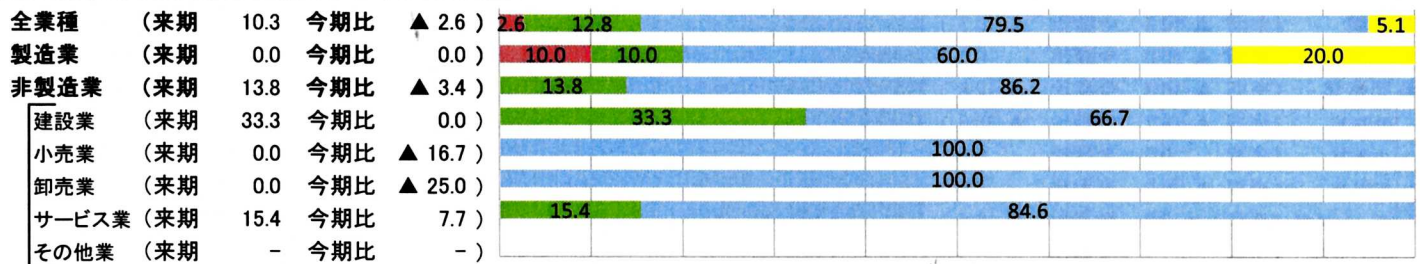
今期(H29年1月～6月)のDI値

(従業員数)

(単位: %)



来期(H29年7月～12月)の見通しDI値



今期(H29年1月～6月)のDI値

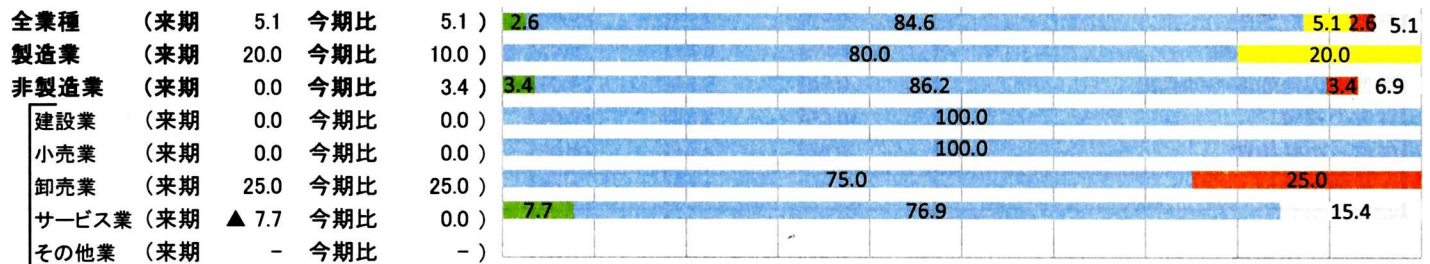
(設備)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

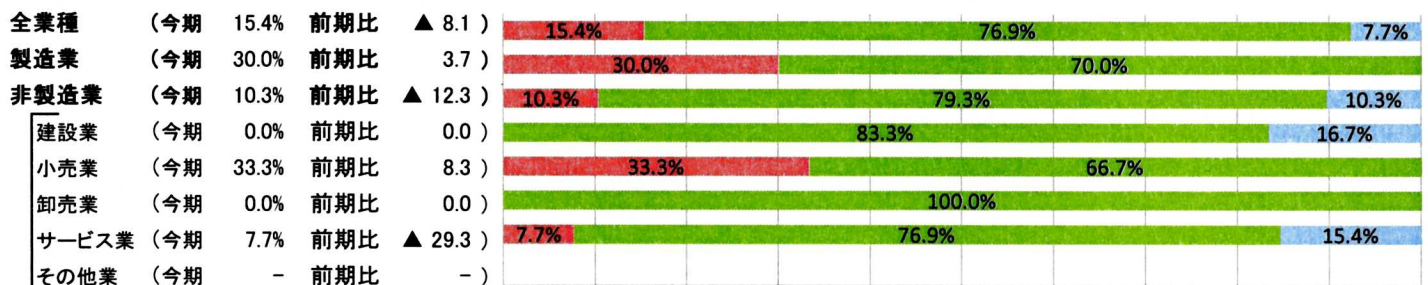
来期(H29年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

◆今期(H29年1月～6月)の新規設備投資を実施した割合

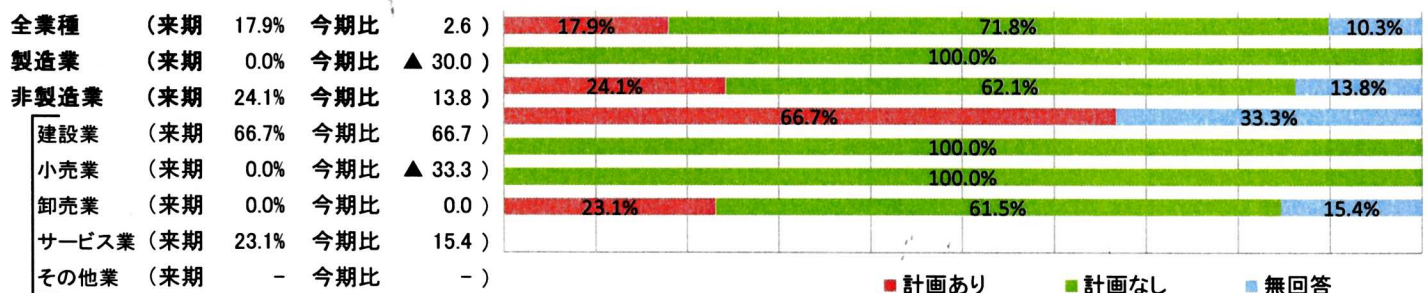


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査(平成29年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

◆来期(H29年7月～12月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	6.9%	② 16.7%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
需要の停滞	20.0%	① 48.3%	② 16.7%	① 33.3%	① 100.0%	① 53.8%	0.0%
為替差損	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	② 25.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	③ 30.0%	③ 17.2%	② 16.7%	① 33.3%	② 25.0%	7.7%	0.0%
新規参入業者の増加	0.0%	6.9%	0.0%	② 16.7%	② 25.0%	0.0%	0.0%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	② 40.0%	10.3%	② 16.7%	② 16.7%	0.0%	7.7%	0.0%
生産設備の不足・老朽化	20.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
原材料の不足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	③ 30.0%	10.3%	② 16.7%	0.0%	② 25.0%	7.7%	0.0%
下請負単価の上昇	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	10.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	6.9%	0.0%	② 16.7%	0.0%	7.7%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	6.9%	0.0%	① 33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	10.0%	3.4%	0.0%	0.0%	② 25.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	② 25.0%	7.7%	0.0%
人件費の増加	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	② 25.0%	7.7%	0.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	② 25.0%	7.7%	0.0%
駐車場の確保難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
従業員・熟練技術者の確保難	① 50.0%	② 31.0%	① 33.3%	② 16.7%	0.0%	② 46.2%	0.0%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	0.0%	3.4%	② 16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	③ 15.4%	0.0%